

釧路ベイロータリークラブ会報

会長方針「コミュニケーションの活性化」

2024-2025 年度 第9回(通算第1231回)
プログラム『会員卓話』

■日時:令和6年10月8日(火)19時00分～ ■例会場:ANA クラウン サル 釧路
【会長】横山 豊 【副会長】伊藤 広樹 【幹事】後藤 義信

■ 点 鐘

横山 豊会長



■ ロータリーソング『』

ソングリーダー 貝嶋 政治君

■ 会長挨拶

横山 豊会長



皆様こんばんは。先月は、私共の協会でもコロナの罹患者が急増致しまして、予定してい

た研修会を急遽中止にせざるを得なかったり、臨時休業の措置をとったりと、コロナの対応に追われた1月でした。症状としましては全国的には発熱のない熱無しコロナが流行しているとの事でしたが我々の施設では37℃後半から38℃前半の発熱、咳、痰が主な症状でした。さて今月は「地域社会の経済発展月間です」世界では雇用されているにもかかわらず、1日にわずか1ドル90セント(約220円)で暮らしている人の数は約8億人いると言われていいます。北海道の最低賃金は今月から50円引き上げになり1010円となっています。日本の最低賃金は他の先進国と比較すると低いと言われていいますが、石破総理は2020年代に最低賃金を全国平均で1500円まで引き上げることを目指しているという事です。本当にこのペースの人件費アップに対応できるのか悩ましいところです。また今月は日本独自の月間テーマである米山月間も設定されておりますので皆様のご理解、ご協力、御寄付を改めてお願い致します。本日は会員卓話が

予定されております。限られた時間ではあります。有意義な例会となりますよう伊藤理事委員長、会員の皆様どうぞよろしくお願い致します。

■ 幹事報告

後藤 義信幹事



本日の幹事報告は 9 点。

1 点目 今月のロータリーレートは 142 円です。

2 点目 根室ロータリークラブ、浜中ロータリークラブから10月の例会プログラムの案内が届いています。

3 点目 館山ベイロータリークラブから会報が届いております。

4 点目 釧路交響楽団から定期演奏会の案内及び招待券が届いております。

5 点目 10月の財団室ニュースが届いております。

6 点目 2750地区の宮崎パストガバナーのエンドポリオサイクリング 2024 の応援に私と森会員がベイを代表して行って参りました。そのお礼が小谷ガバナー、鶴見副ガバナー連名で届いております。

7 点目 釧路北ローターアクトクラブからマスターゴルフからの寄付金のお礼の手紙が届いております。

それぞれ、個人ボックスの上に置いていますのでご覧ください。

8 点目 ワイン例会の案内を FAX にてご案内しました。22日までに合同事務所にご返信ください。

9 点目 本日の例会終了後、この会場にて理事役員会を行いますので、理事者はお残りください。

以上です。

■ 各種記念日の紹介(親睦活動委員会)



【入会記念日】 該当者はありません。

【誕生祝】 倉茂義衛君

昭和36年10月23日 (63歳)



【結婚祝】 該当者はありません。

■ 本日のココロ献金

【伊藤委員長宜しくお願い致します】

横山豊君、後藤義信君、千葉潔君、美馬高俊君、森圭一郎君、倉茂義衛君、平野知子君、大越拓也君、植原元晴、貝嶋政治君、鈴木敏夫君、沢田雅仁君、葭本正美君

【本日宜しくお願い致します】伊藤広樹君

☆本日のニコニコ献金 25000 円

☆本日の小銭献金 円

・皆さん、ありがとうございました。

・本日のプログラム

「会員卓話」担当 米山奨学委員会

今年度2500地区の米山奨学生は12名在籍中です。毎年、会員向けにロータリー米山記念奨学事業豆辞典を配布しております。釧路バイククラブとしては粗食例会を実施して1人年間8千円を支出しております。葎本パストガバナー・漆崎パストガバナーが特別寄付としてそれぞれ10万円をしております。現在第7分区には在籍者はありません、釧路ベイRCでは過去2回世話クラブとして奨学生迎えております。2007-08年 貝嶋会長年度 中国内モンゴル自治区からソリアさんが来られて「日本におけるエイズ予防対策と予防教育の比較研究」というテーマでした。2020-21年 森会長年度 ソロモン諸島出身の キルア・アルドリリン・ドナシア君 濱田さんがカウンセラーとしてお世話しておりました。帯広からの通いなので時間的・経済的にも大変ではないかと思えます。

米山記念奨学事業とは

日本のロータリーが作った独自の事業で34地区全地区が参加する合同プロジェクトです。1952年に事業が始まって以来、一貫して日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは この事業を行う為に、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で財源は全てみなさんからの寄付で成り立っています。(2023-24年度の寄付金収入額は14億4568万円と前年度より2300万円増、863名の奨学生が在籍)この奨学金の最大の特徴は「世話クラブ・カウ

セラー制度」です。銀行振込が多い他の奨学金とは違って、米山奨学生にはロータリー活動に共に参加してもらい交流する事を大切にしています。

事業のはじまり

終戦の翌年の1946年“日本のロータリーの父”米山梅吉氏が亡くなりました。3年後、1949年戦争の為解散を余儀なくされた、日本のロータリーが国際ロータリーに復帰します。戦後、落ち着きを取り戻すにつれ梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができるような何か有益な事業をやるのではないかという声が大きくなってきました。当時、日本はまだ食料事情もはかばかしくなく会員達は「クラブへ行けばお茶を入れてもらえる」と弁当持参してストーブを囲みながら熱心に議論をしていたそうです。そして、1952年東京RC吉沢文作会長が「米山基金」の構想を発表しました。これはアジアからの優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を肌で感じてもらいたいというものでした。こうして東京RCが始めた「米山基金」はわずか5年で日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

国際ロータリーと米山

ところで、米山は日本のロータリー独自の奉仕事業として作られ発展してきました。このためロータリー活動ではあるものの国際ロータリーとは一線を画す状況が自ずと続いていました。そうした関係が次第に変化してきたのは2004年頃からです。2004年11月のRI理事会で「奨学金の授受を通じ、世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー米山記念奨学会を称賛する」

とされ、これ以降ロータリー米山記念奨学会が「他地区合同奉仕活動」の手続きを取る事により、ロータリーの名称やロータリーマークを今後も続けて使用する事を認めるということが決議されました。2007年には34地区からの同意を得て、国際ロータリーも定める多地区合同奉仕活動として全ての手続きを完了しました。そして2014年1月RI理事会ではロータリー学友の定義が拡大され米山学友もロータリー学友の一員となりました。これを受けて2016年のソウル国際大会には世界中から多くの米山学友が集まり、ロータリーファミリーの一員として参加したのです。

米山 梅吉氏の生涯を描いた漫画を投影



釧路ロータリークラブ 出席委員会

在籍会員数	20名	賜暇 / 免除	欠席 / メイクアップ	出席率
今週の出席率	14名	名 / 名	6名 / 名	70%
日修正出席率	名	名 / 名	名 / 名	%

会報・雑誌・IT委員長 千葉 潔 : chibainterior@yahoo.co.jp
 今回担当 副委員長 植原 元晴 : ueharaoto@jeans.ocn.ne.jp
 委員 貝嶋 政治 : kajijima@coral.ocn.ne.jp
 委員 美馬 嵩俊
 サブ 池田 圭樹

クラブ事務所 釧路市幸町14丁目1-1 ノースサカイ2階 TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154)23-6213